

景観からのまちづくり

盛岡市景観計画

市では、景観法の制定を踏まえ、これまでの都市景観形成ガイドラインの理念である「市民とともに考え、ともに歩む～盛岡方式」を継承し、さらなる景観政策の充実と向上を図り、盛岡固有の景観を守り、創り、育て、次世代に継承できる「美しいまち盛岡」を実現するため、盛岡市景観計画を策定しました。

盛岡の景観の特徴

地域特性による景観的特徴

市の各地域には、地形や土地利用の状況により景観的特性があります。

市街地は、お城を中心として形成され、都市の発展により北上盆地の南北方向に広がっています。

田園・丘陵地は、市街地の東西を包み込むように広がっており、身近に自然を感じさせます。

山地は、主に市の東部の北上高地からなっています。

主要な景観の特徴

景観を構成する重要な要素は次の5つになります。

岩手山や姫神山などの山は、眺望景観に優れています。

北上川や中津川などの河川は潤いのある水と緑の自然環境に優れています。

盛岡城跡や町家などの歴史的な景観が継承され、城下町としての落ち着きがあります。

幹線街路は、まち並みに近代的な印象を与え、旧街道沿いでは城下町の名残があります。

地域の人々に親しまれている、景観資産、樹木、まち並み等は、「やわらかい」雰囲気を醸し出しています。



ふるさとの象徴である山並み眺望



城下町としての風格ある歴史的景観

景観計画のテーマと目標像

盛岡の景観の特徴、現状の課題、関連計画及び各種市民意識調査を踏まえ、盛岡らしい景観を次の五つのテーマに整理し、将来に向けて実現しようとする景観形成の目標像を、情緒、風情、賑わい、四季の変化を大切にした、「潤いと彩りのあるまちの風景づくり」としました。

盛岡らしさの五つのテーマ

ふるさとの山の眺望を大切にした風景づ

水と緑を大切にした風景づくり

歴史と伝統が息づく風景づくり

歩行者に快適な魅力ある風景づくり

住み続けたくなる住まいと風景づくり

潤いと彩りの
あるまちの
風景づくり

景観計画の目標像